

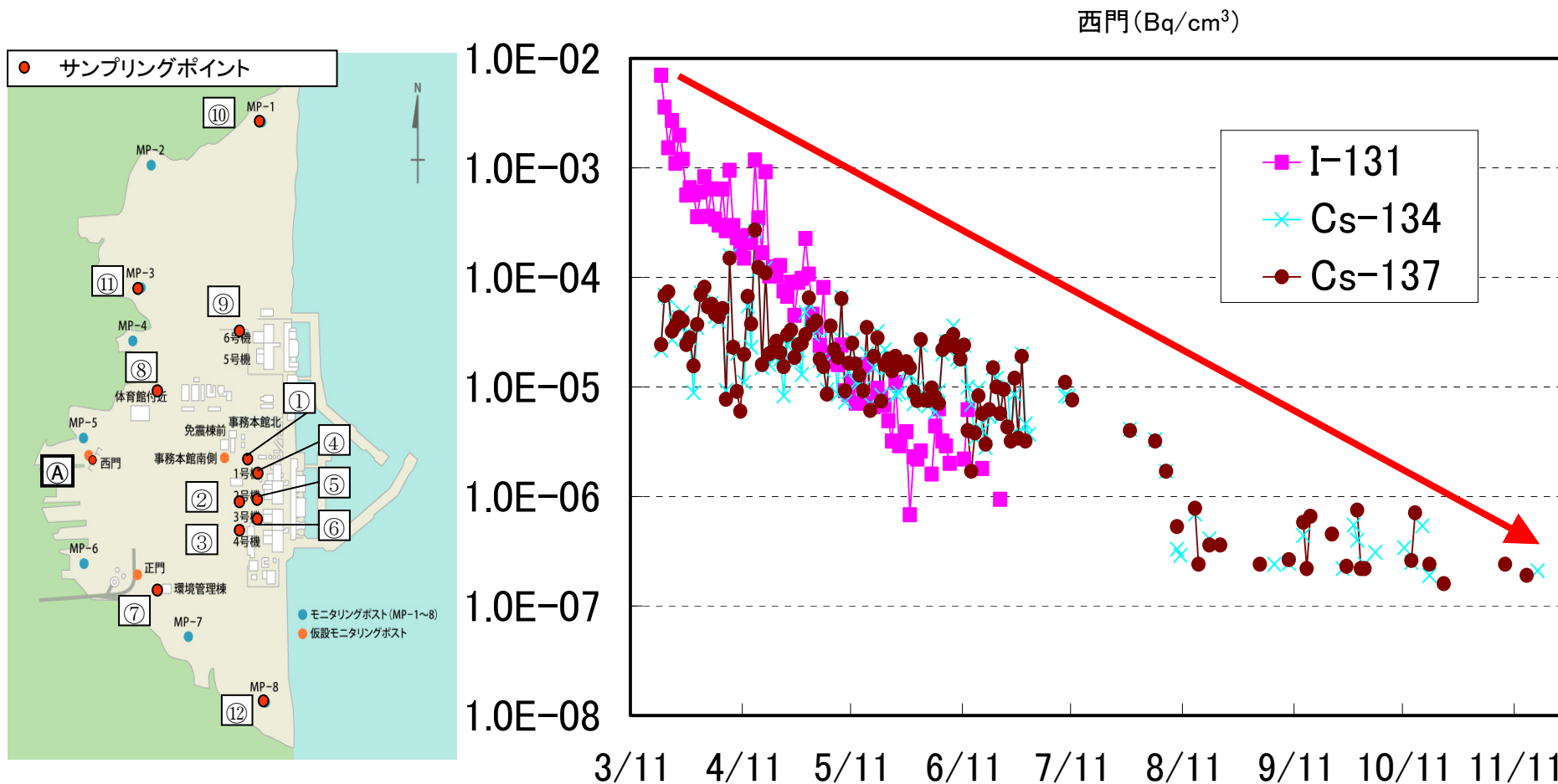
訂正版

- スライド20における赤字部のデータを訂正。(平成26年1月23日)

< 参考資料 >
平成23年12月3日
東京電力株式会社

福島第一原子力発電所における 放射能濃度・空間線量率の推移

発電所西門付近ダスト放射能濃度

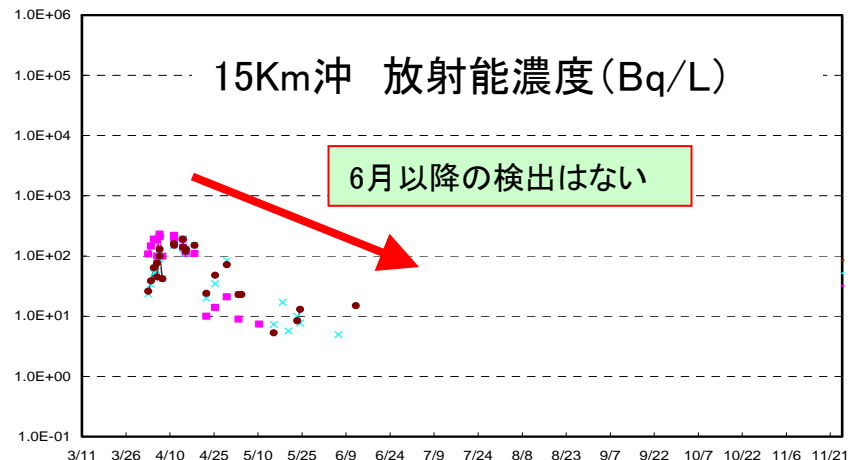


番号	調査地点名	番号	調査地点名
①	西門	⑦	環境管理棟前
②	1号機北側法面上	⑧	水処理建屋前
③	1, 2号機西側法面上	⑨	5, 6号機開閉所前
④	3, 4号機西側法面上	⑩	MP-1
⑤	1号機山側	⑪	MP-3
⑥	2号機山側	⑫	MP-8
	3号機山側		

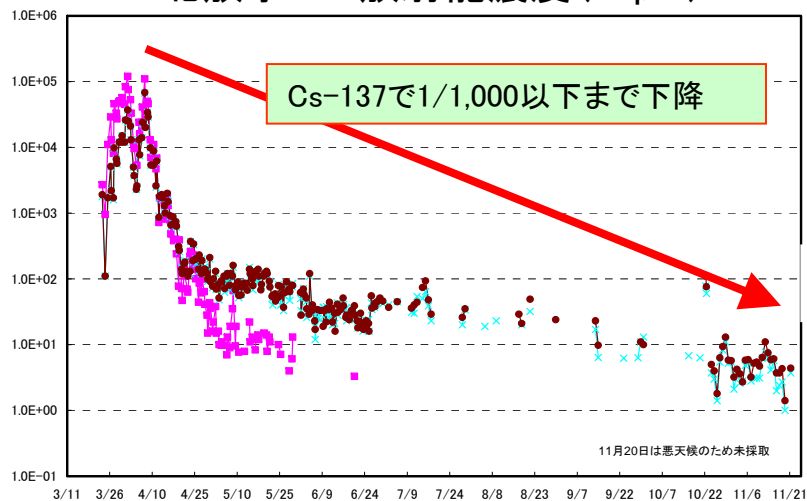
事故発生時の最大値と比べ、現在、Cs-137で1/100以下まで低下し、告示濃度を十分下回る濃度で推移している。

※告示濃度
 I-131…1.0E-03 Cs-134…2.0E-03 Cs-137…3.0E-03

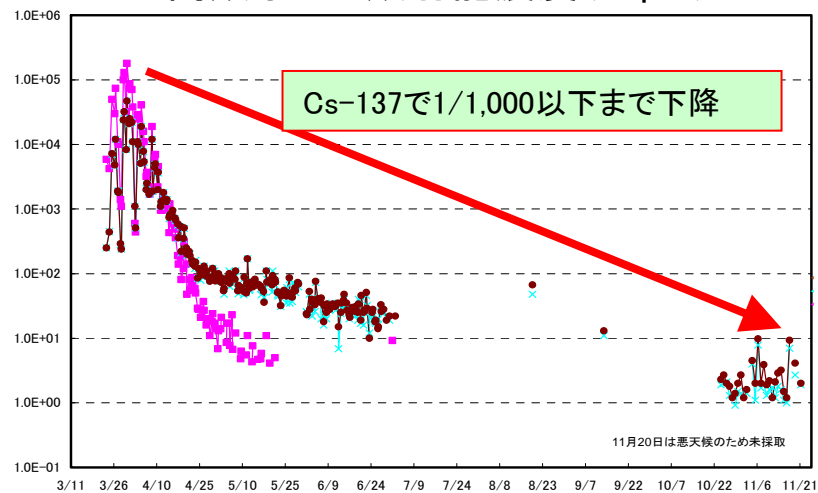
海水（沿岸・沖合）放射能濃度(1/6)



北放水口 放射能濃度 (Bq/L)



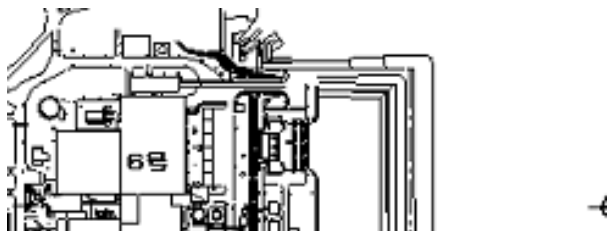
南放水口 放射能濃度 (Bq/L)



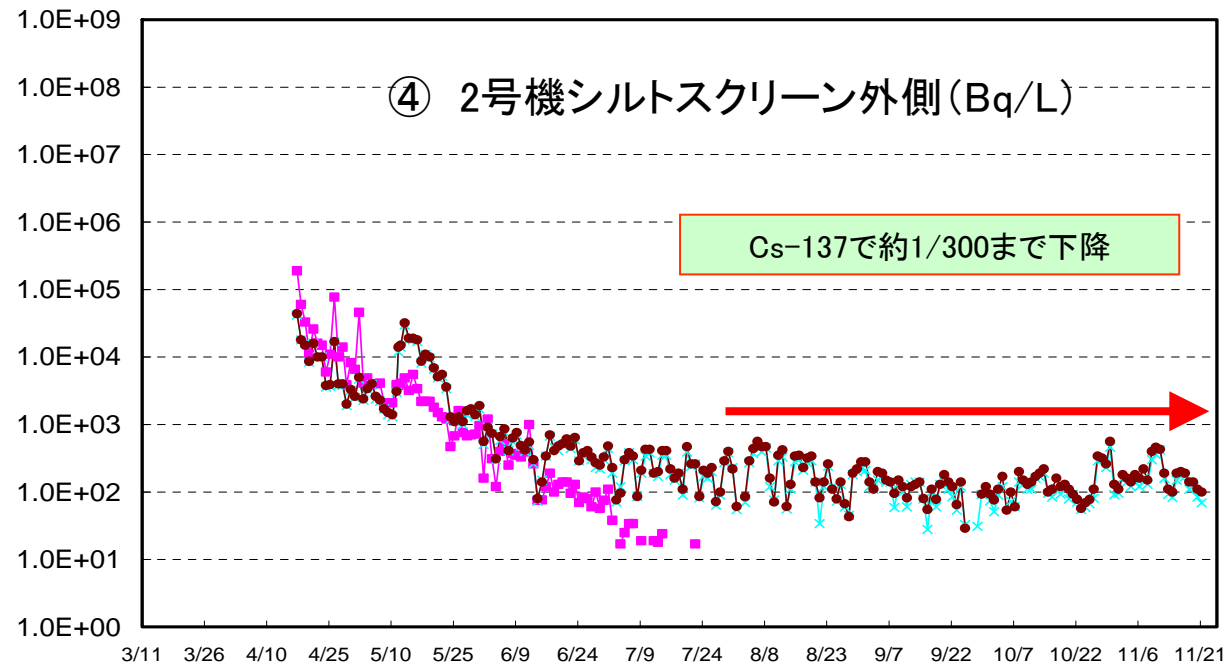
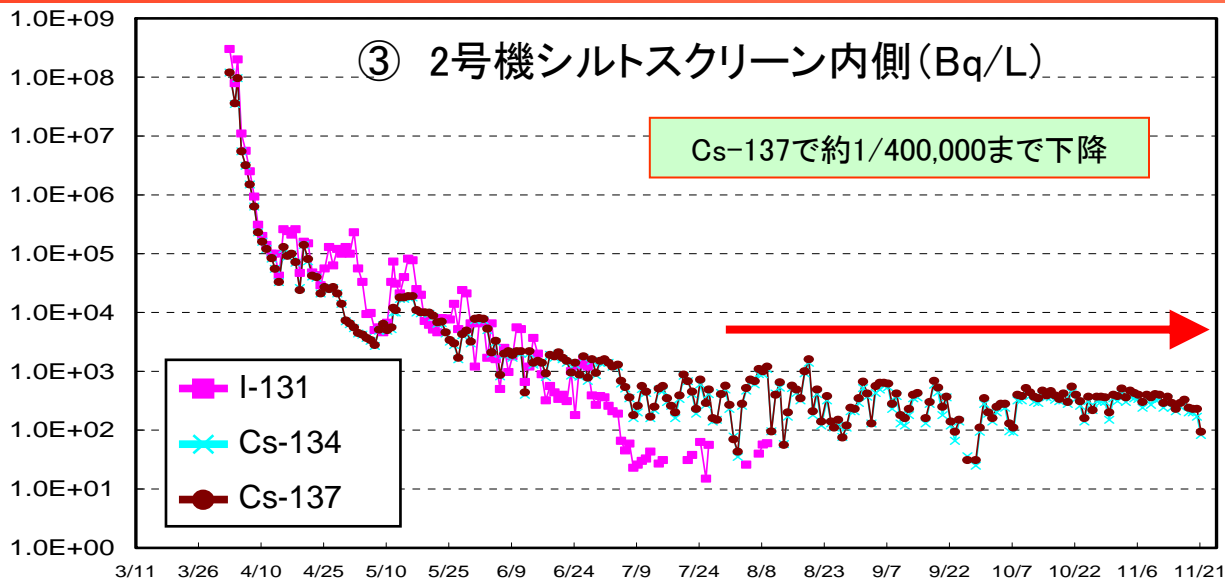
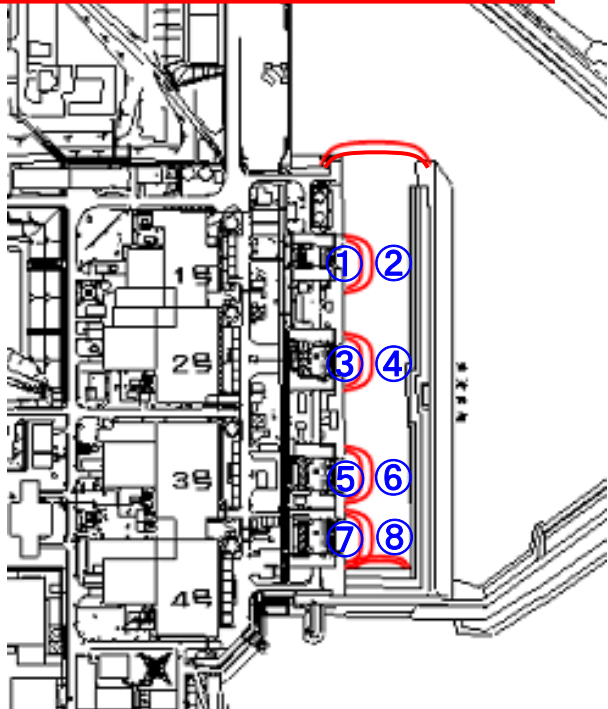
※グラフスケール 縦軸:1E-1~1E+6 横軸:3/11~11/25 ※凡例 I-131 Cs-134 Cs-137

事故発生以降、低下傾向を示しており、現時点では、告示濃度を下回る濃度で推移している。
 ※告示濃度 I-131...40 Cs-134...60 Cs-137...90

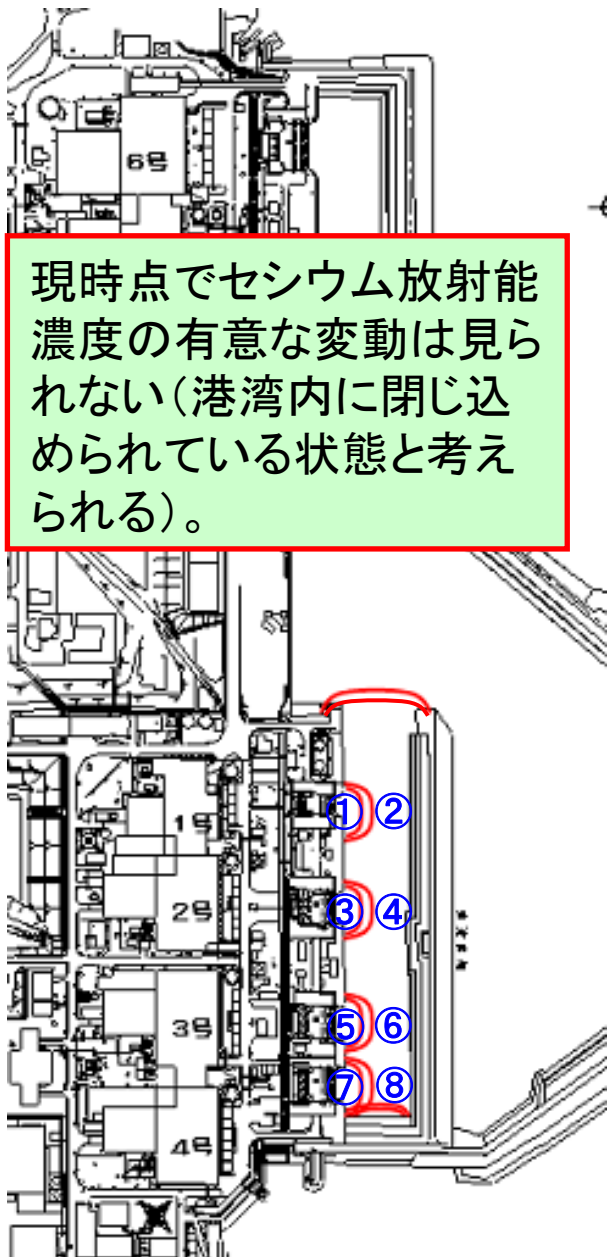
海水（2号機スクリーン）放射能濃度(3/6)



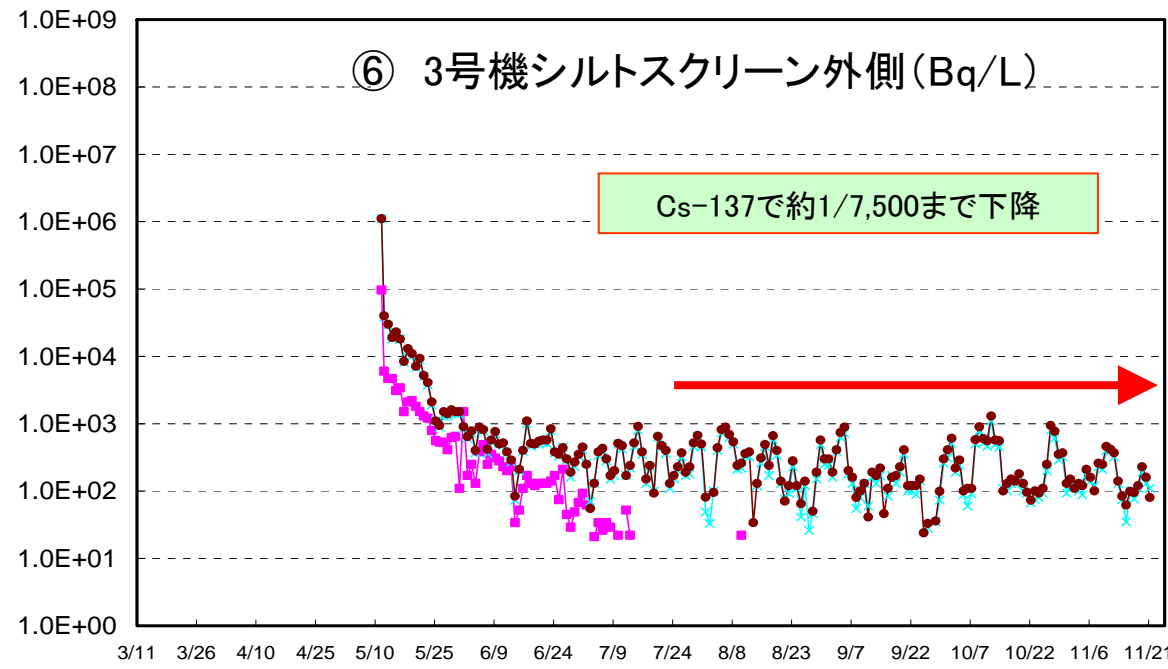
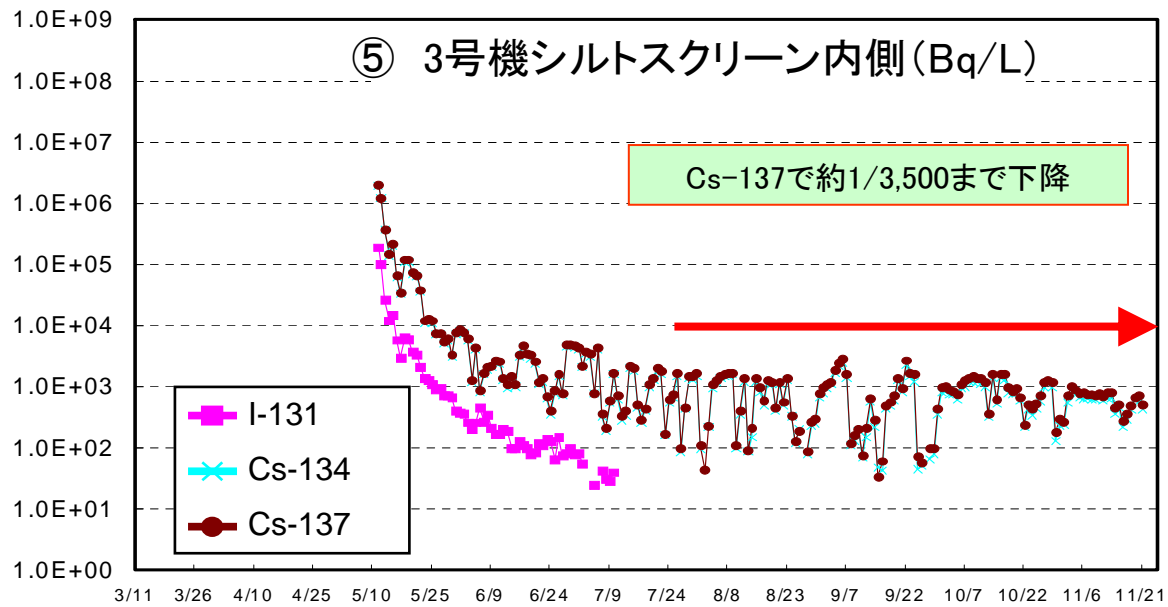
現時点でセシウム放射能濃度の有意な変動は見られない(港湾内に閉じ込められている状態と考えられる)。



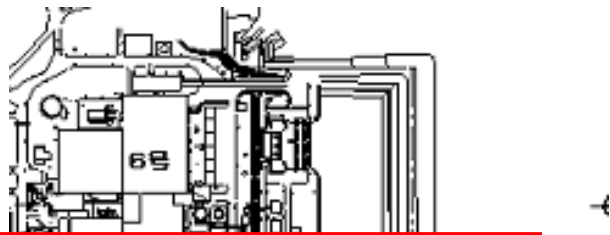
海水（3号機スクリーン）放射能濃度(4/6)



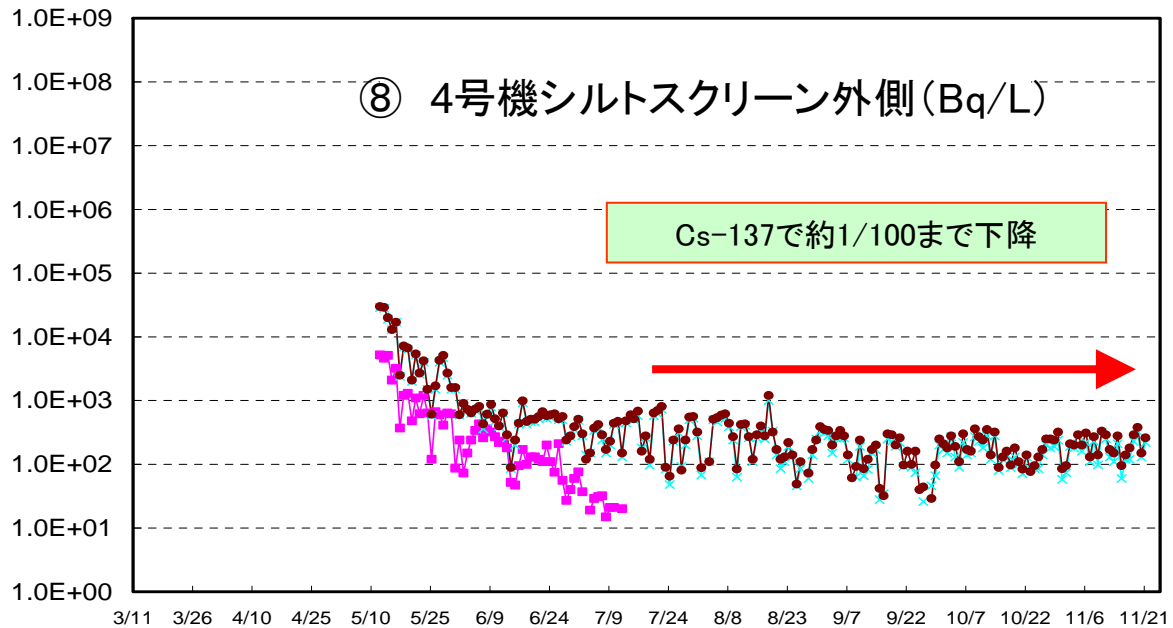
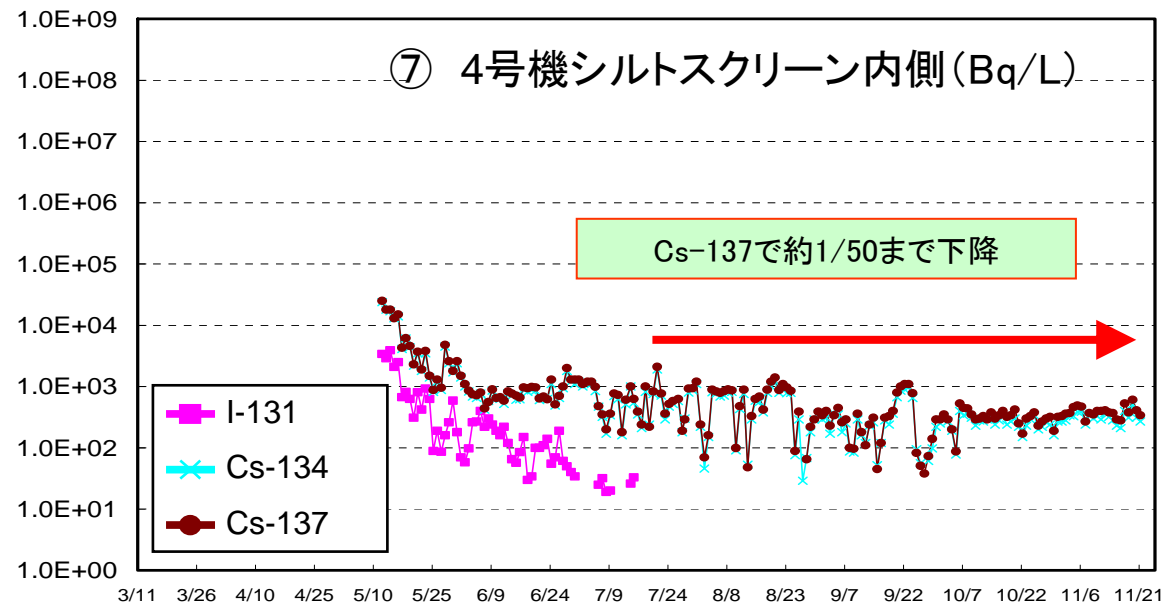
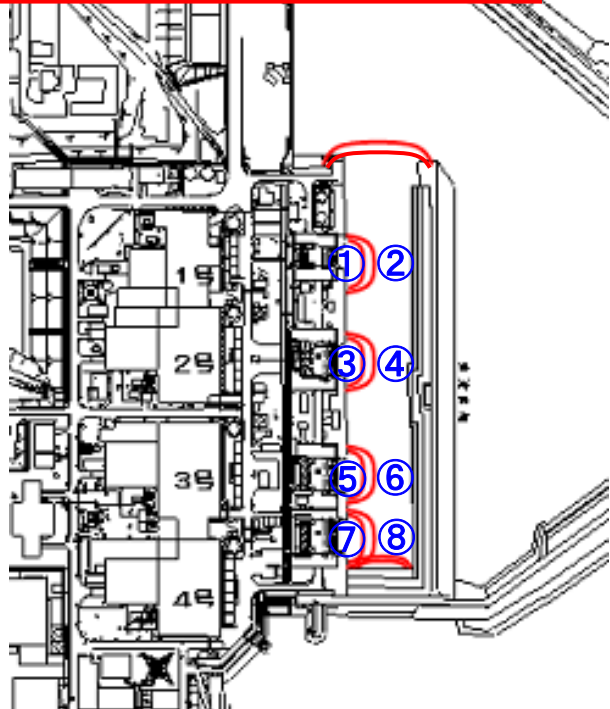
現時点でセシウム放射能濃度の有意な変動は見られない(港湾内に閉じ込められている状態と考えられる)。



海水（4号機スクリーン）放射能濃度(5/6)

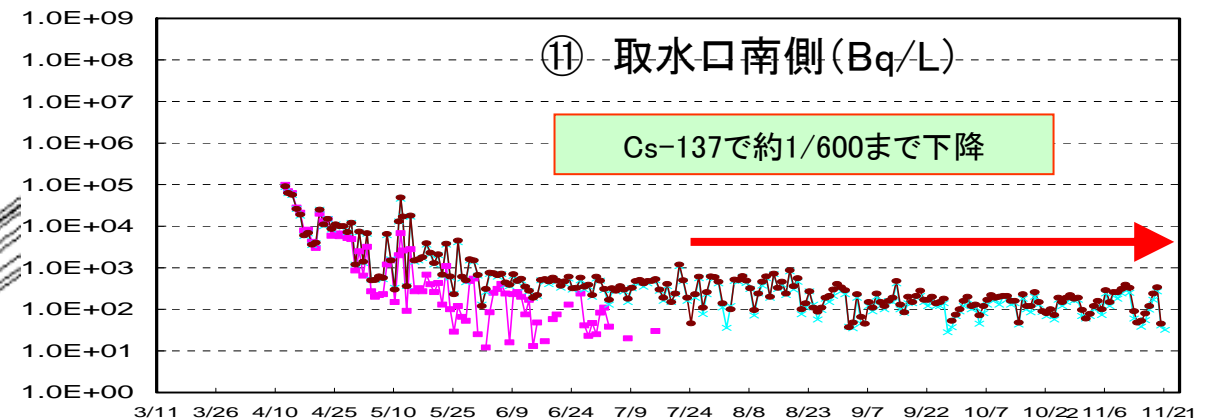
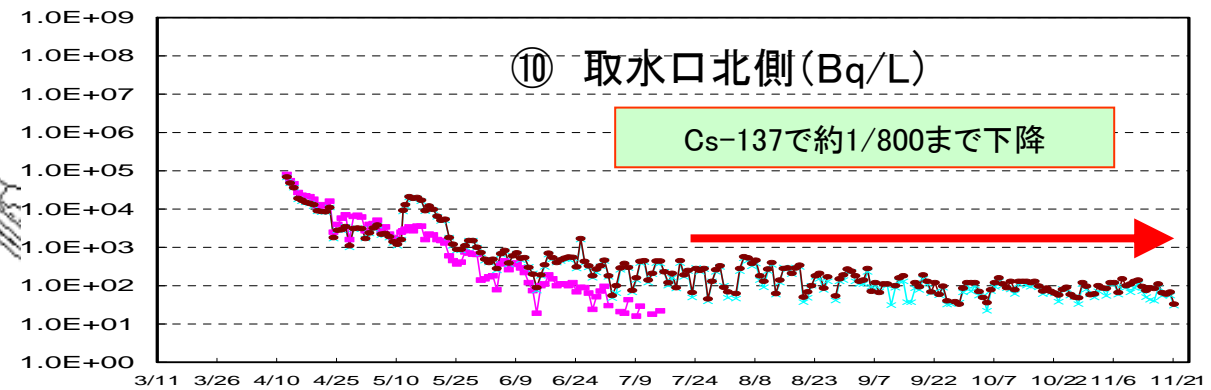
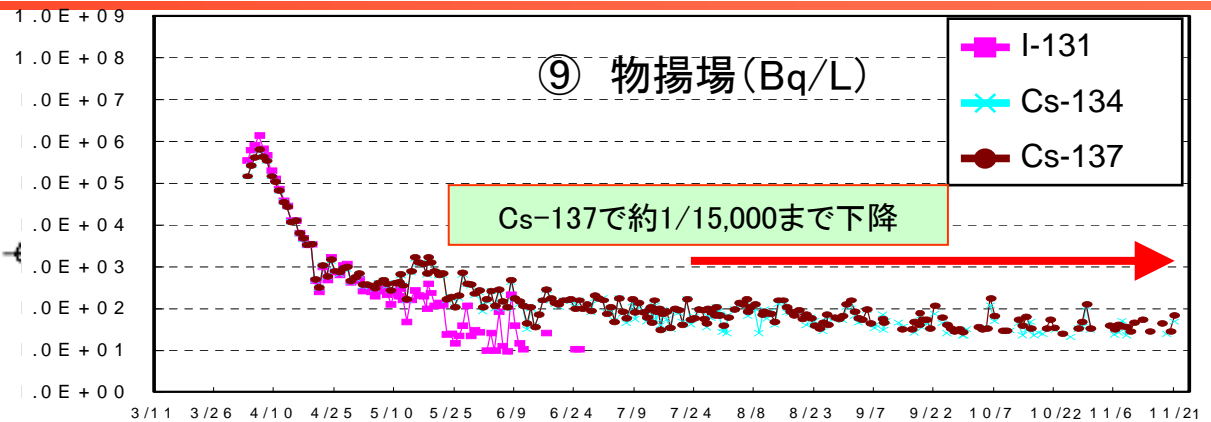
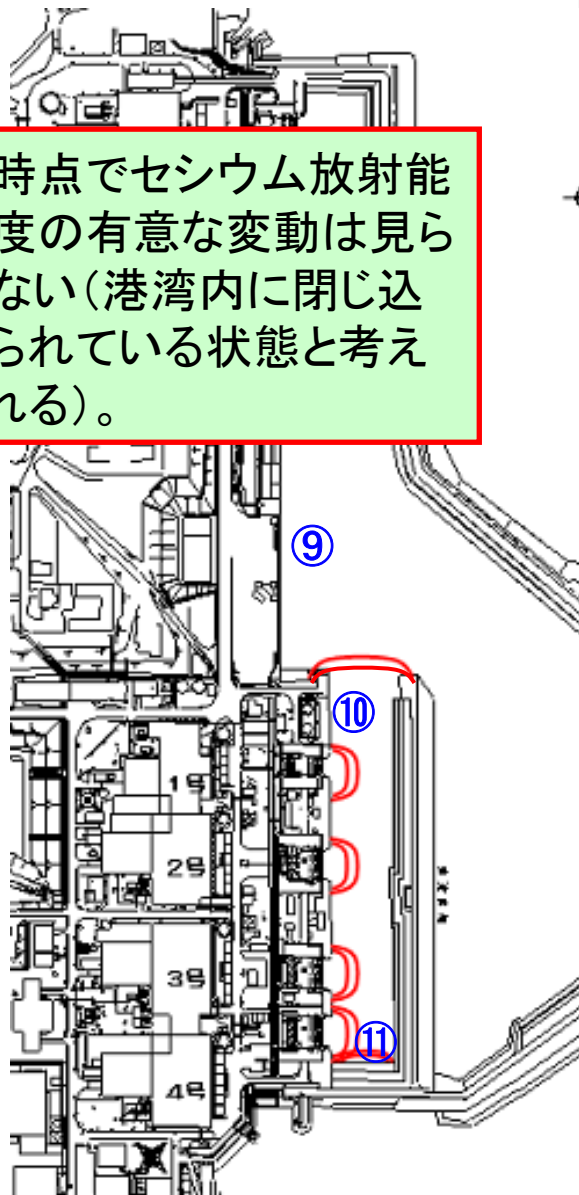


現時点でセシウム放射能濃度の有意な変動は見られない(港湾内に閉じ込められている状態と考えられる)。

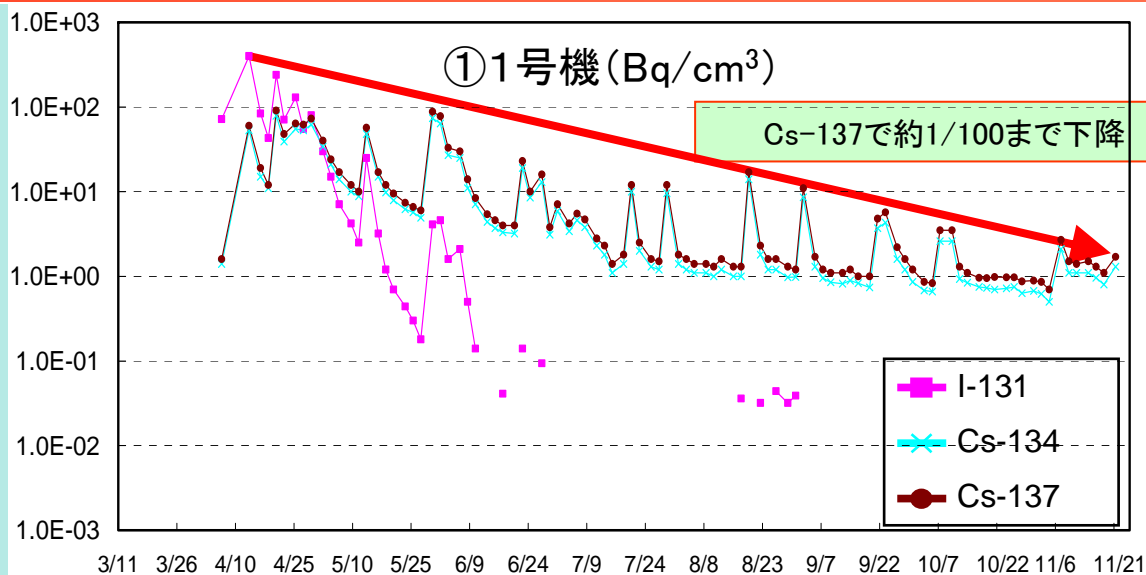


海水（物揚場～取水口南側）放射能濃度(6/6)

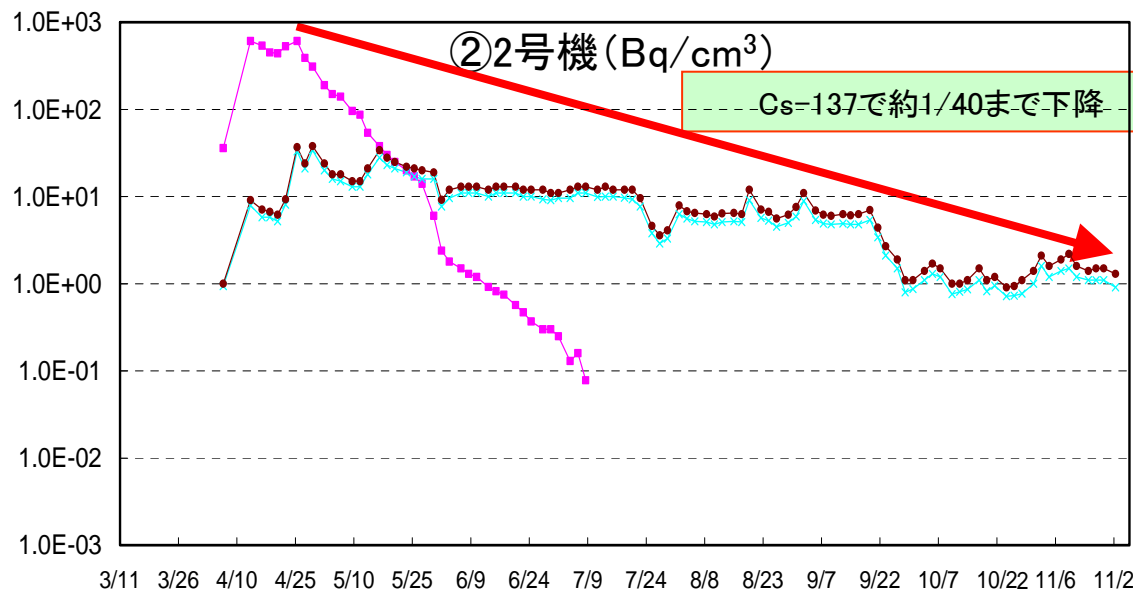
現時点でセシウム放射能濃度の有意な変動は見られない(港湾内に閉じ込められている状態と考えられる)。



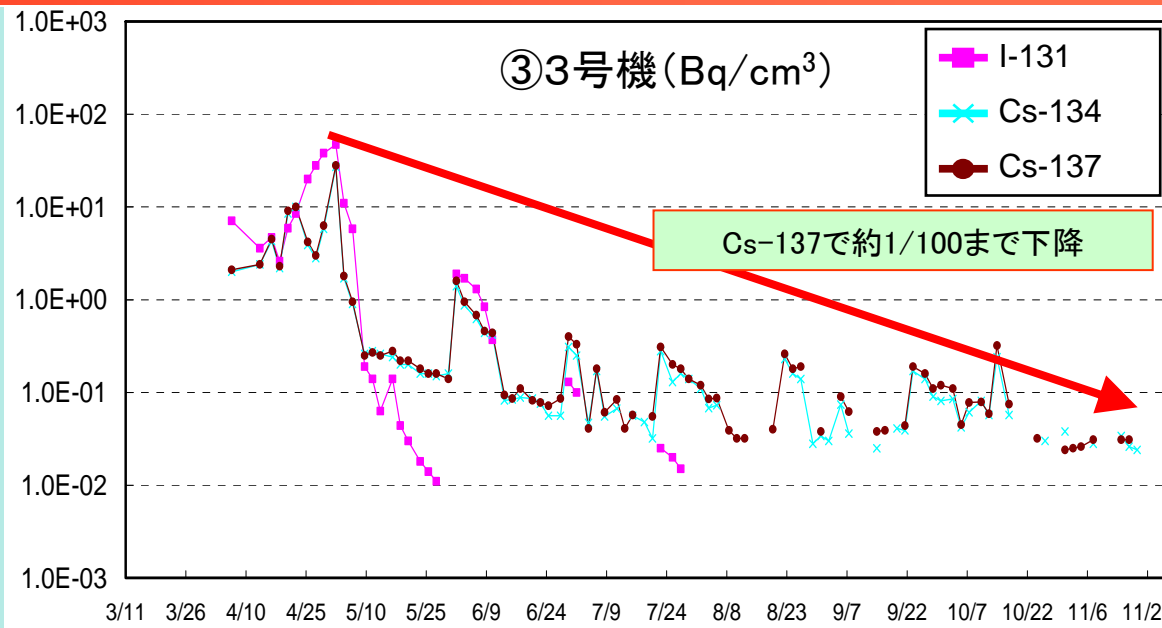
サブドレン放射能濃度(1/3)



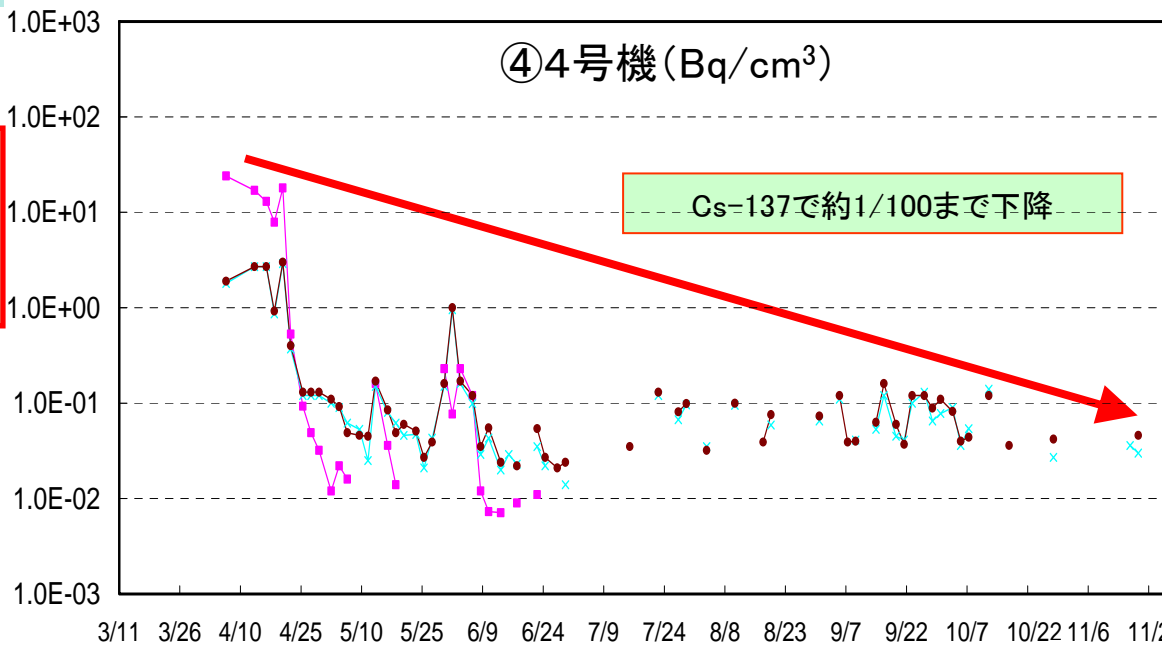
事故発生以降、低下傾向を示しており、現時点で、セシウム放射能濃度の上昇は見られない。



サブドレン放射能濃度(2/3)



事故発生以降、低下傾向を示しており、現時点で、セシウム放射能濃度の上昇は見られない。

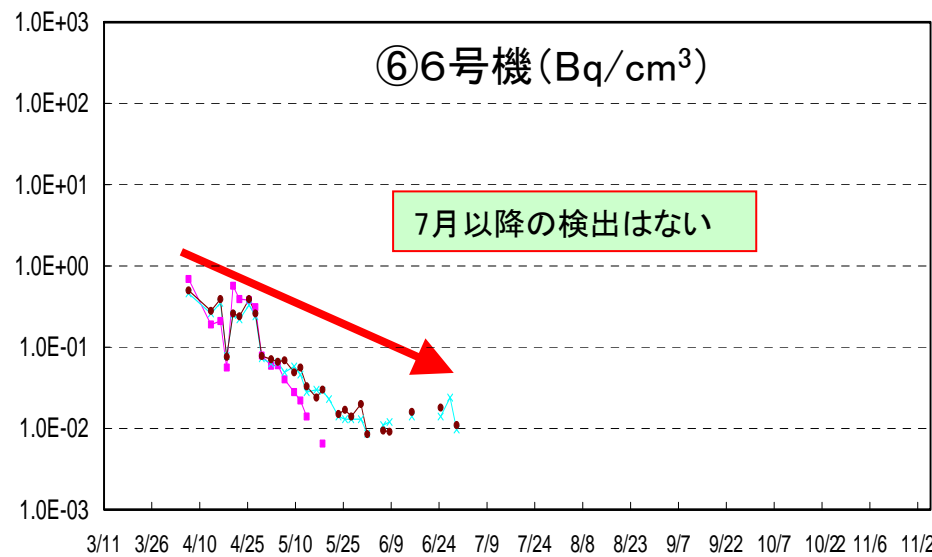
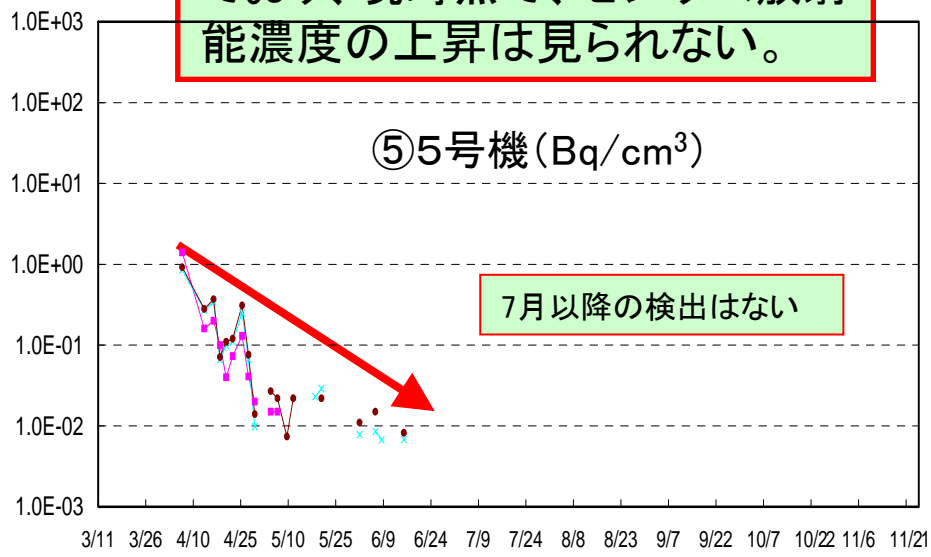
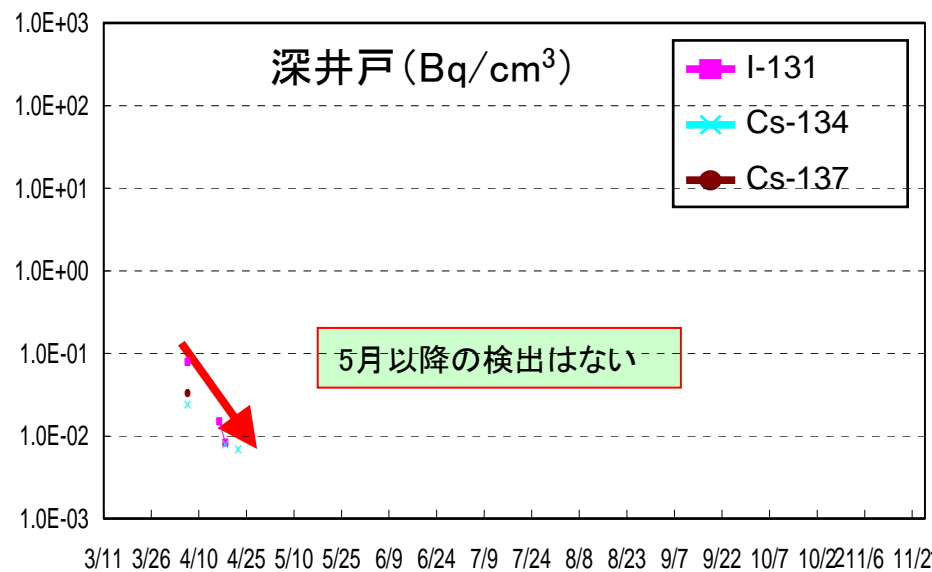


3/11 3/26 4/10 4/25 5/10 5/25 6/9 6/24 7/9 7/24 8/8 8/23 9/7 9/22 10/7 10/22 11/6 11/21

サブドレン放射能濃度(3/3)

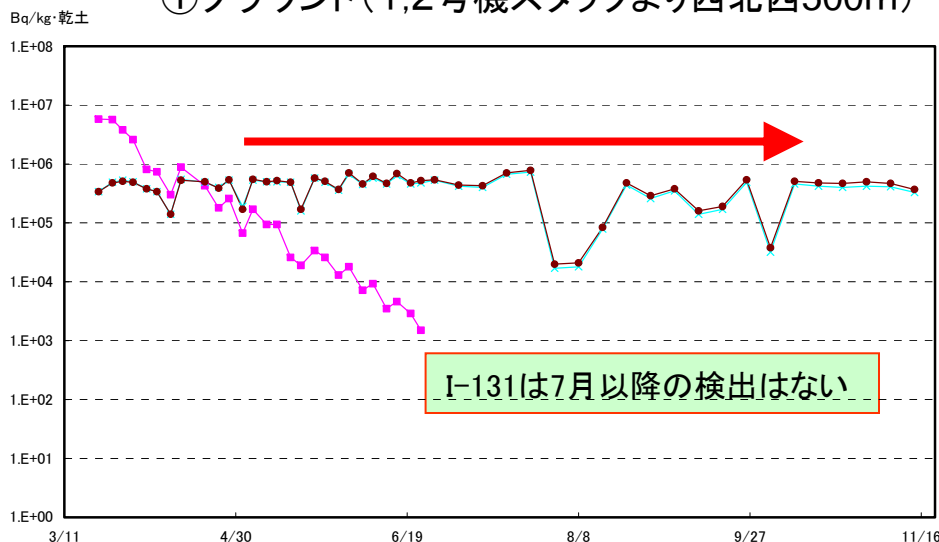


事故発生以降、低下傾向を示しており、現時点で、セシウム放射能濃度の上昇は見られない。

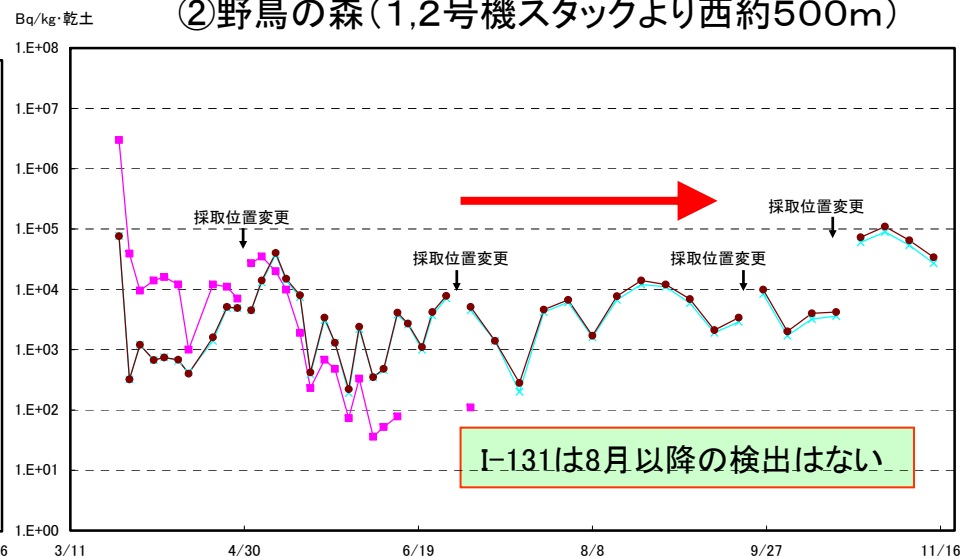


土壌放射能濃度

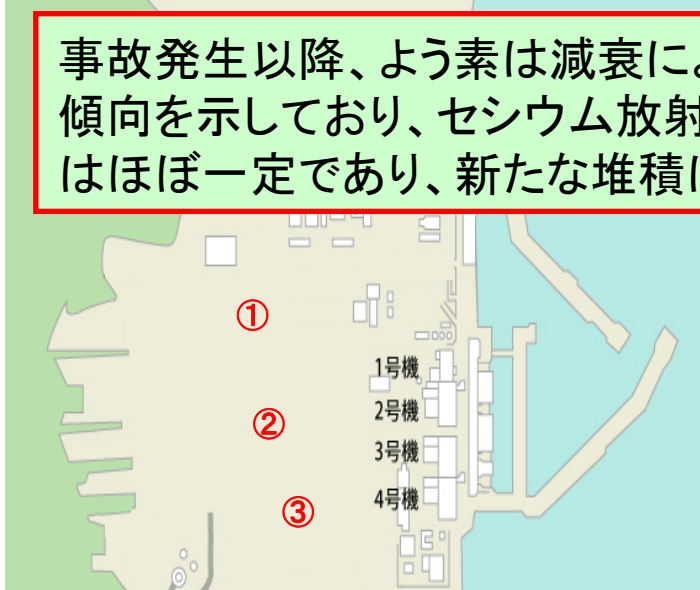
①グラウンド(1,2号機スタックより西北西500m)



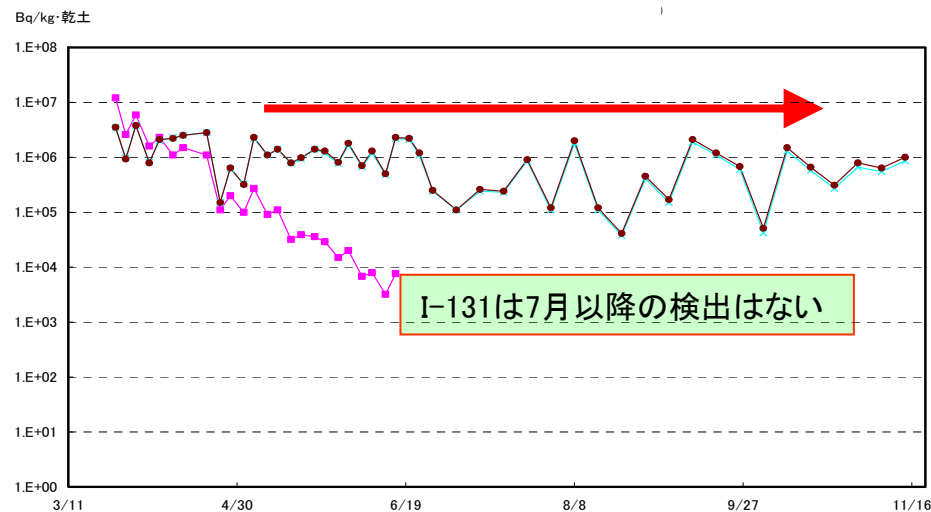
②野鳥の森(1,2号機スタックより西約500m)



事故発生以降、よう素は減衰による低下傾向を示しており、セシウム放射能濃度はほぼ一定であり、新たな堆積はない。



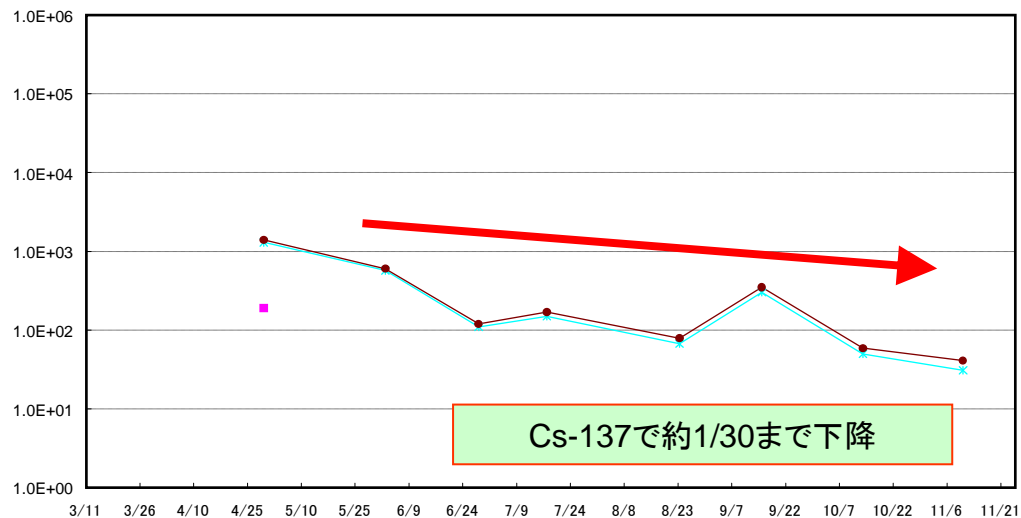
③産廃処分場近傍(1,2号機スタックより南南西約500m)



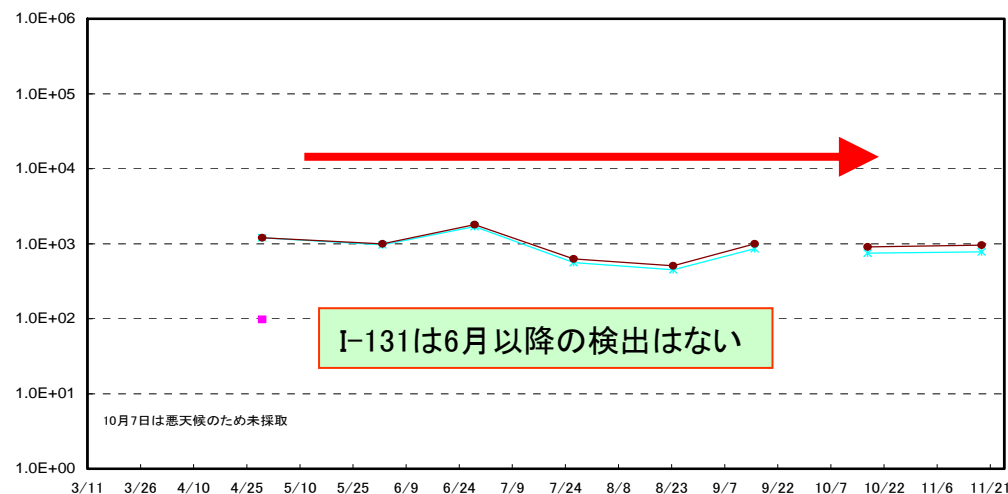
※グラフスケール 縦軸:1E+0~1E+8 横軸:3/21~11/14 ※凡例 ■ I-131 × Cs-134 ● Cs-137



①小高区沖合3km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)



②岩沢海岸沖合3km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)

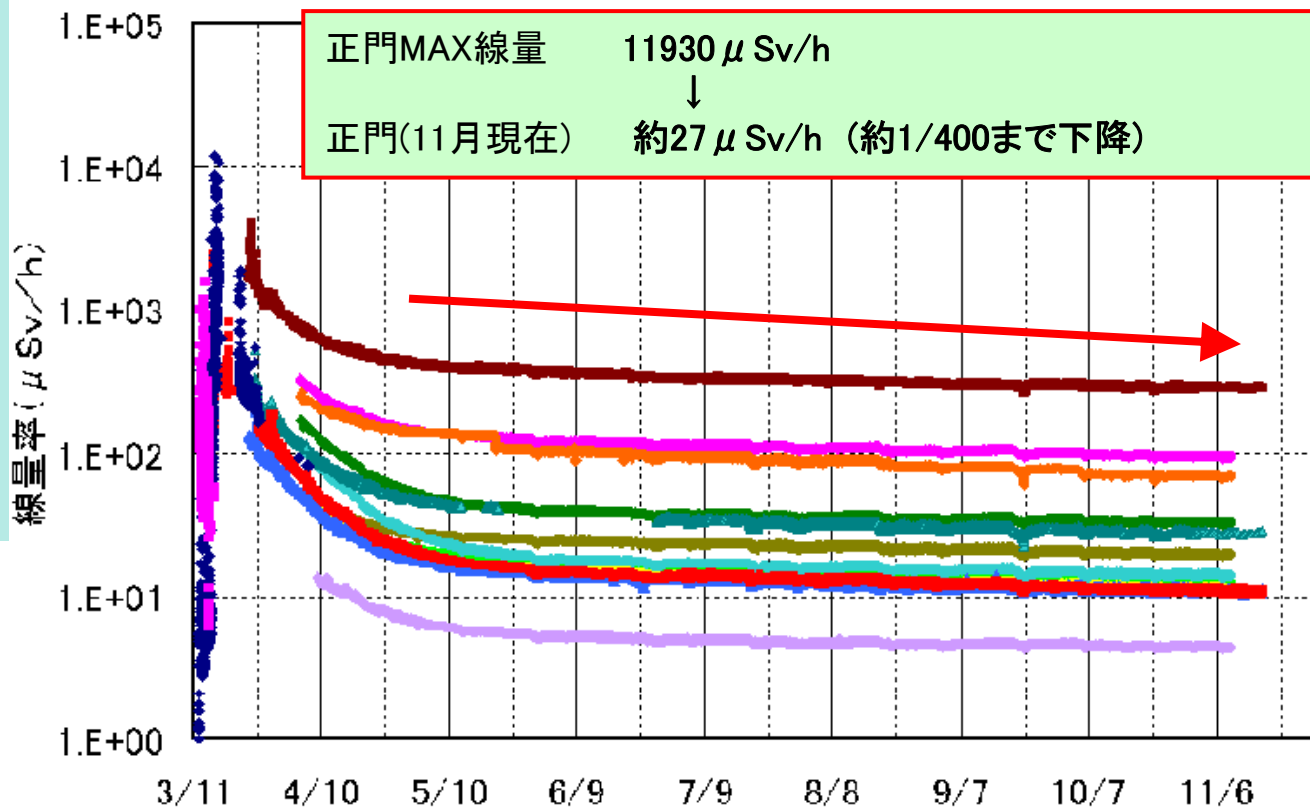


事故発生以降、低下傾向もしくは横ばいで推移しており、放射性物質の新たな堆積はない。

モニタリングポスト等の空間線量率



- ◆ MP-1
- ◆ MP-2
- ◆ MP-3
- ◆ MP-4
- ◆ MP-5
- ◆ MP-6
- ◆ MP-7
- ◆ MP-8
- ▲ 西門 (可搬型)
- ▲ 正門 (可搬型)
- 事務本館南 (可搬型)
- 西門付近 (モニカー)
- ◆ 正門付近 (モニカー)
- MP-4付近 (モニカー)

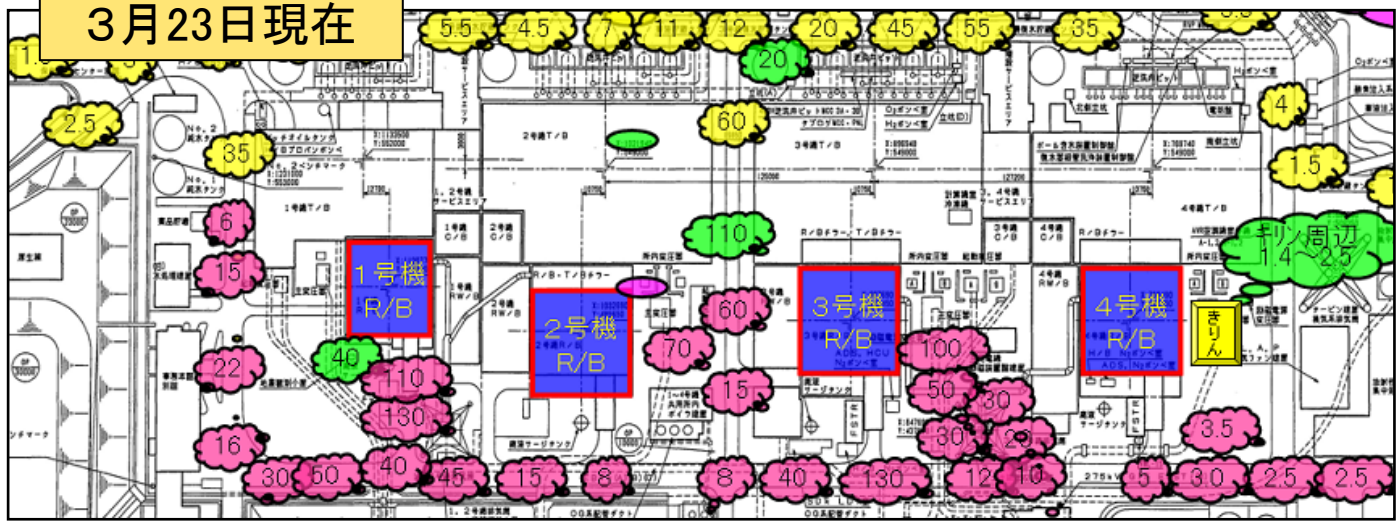


事故発生に伴い各測定ポイントの線量率が急激に上昇したが、その後は安定した低減傾向を示し、現在は各ポイントのバックグラウンドレベルで推移している。

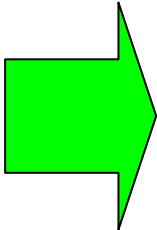
発電所構内の空間線量率

ガレキ撤去に伴い空間線量率が低減した。

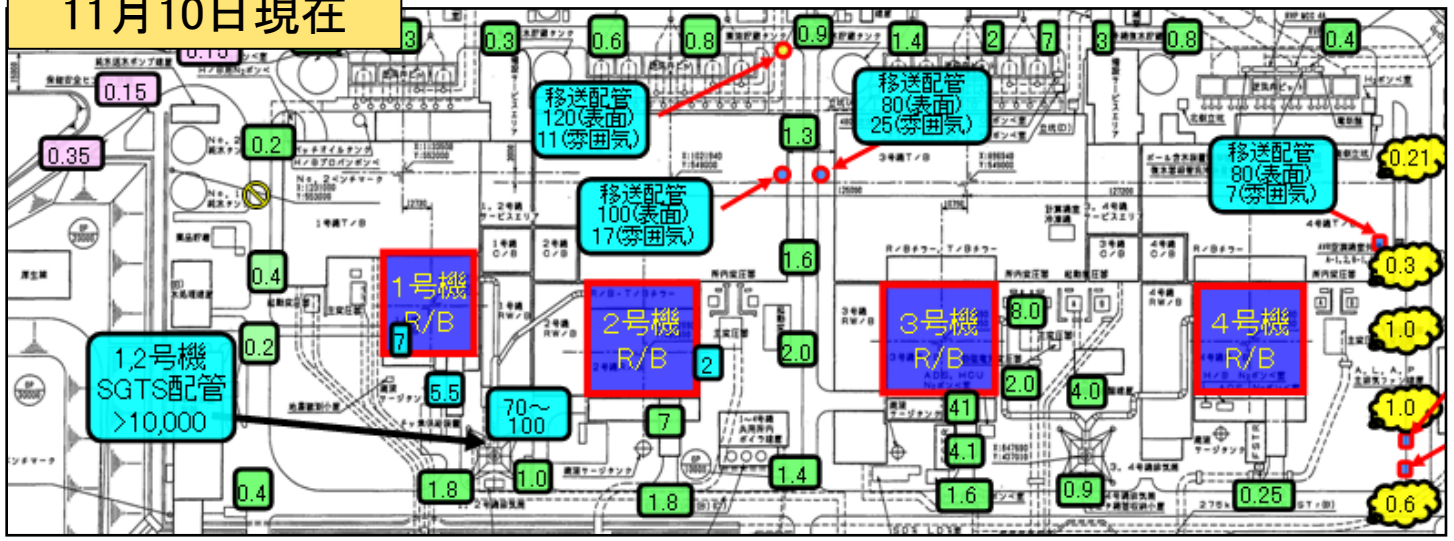
3月23日現在



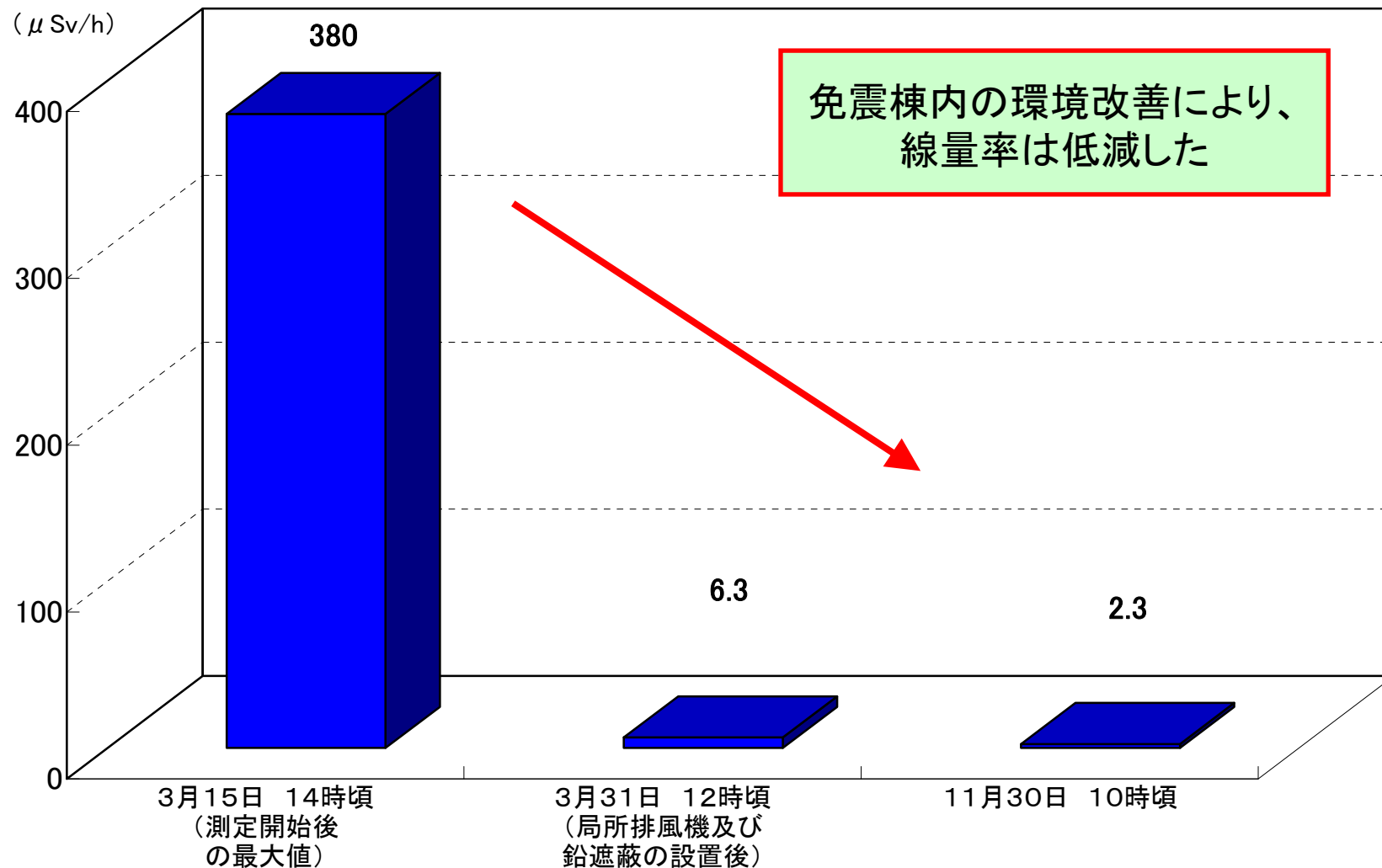
単位:mSv/h



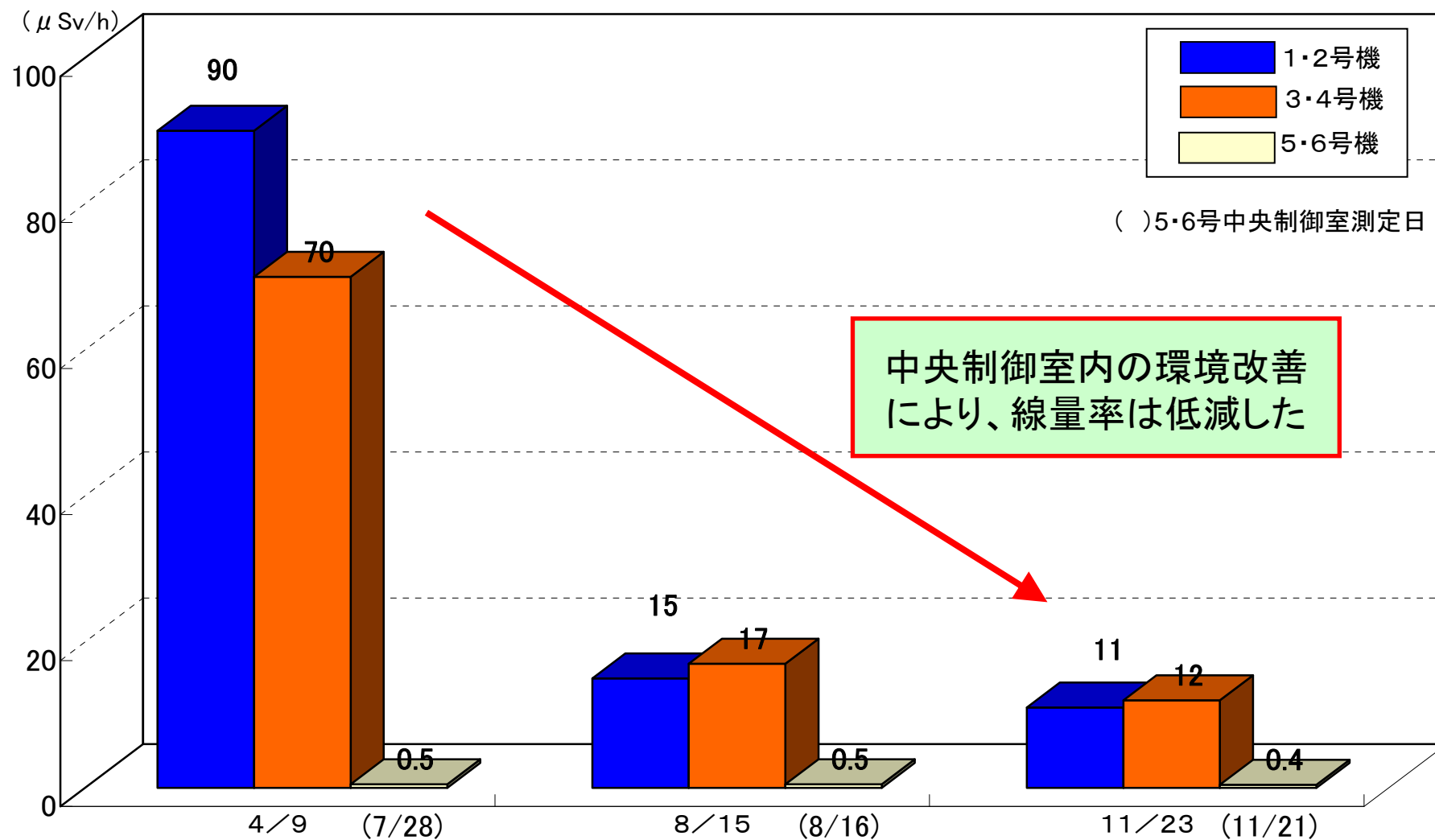
11月10日現在



免震重要棟2階 緊急時対策室線量率(室内の最大地点)

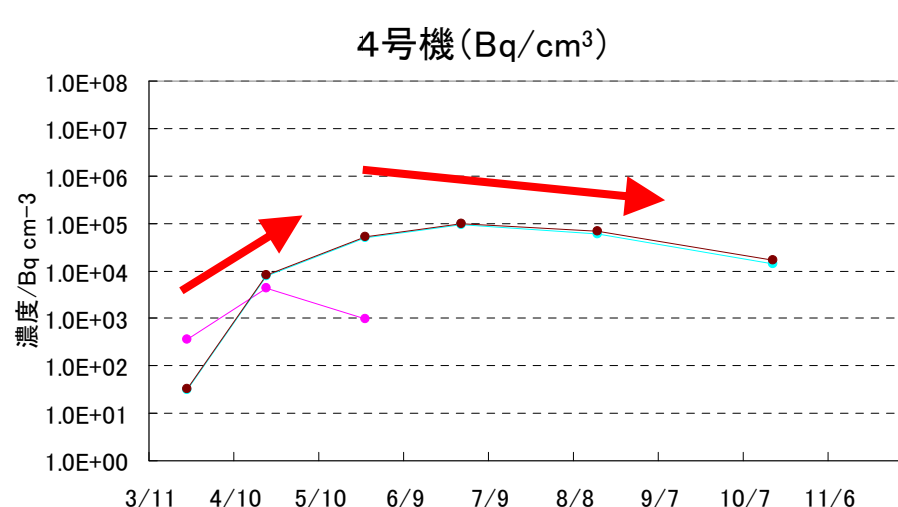
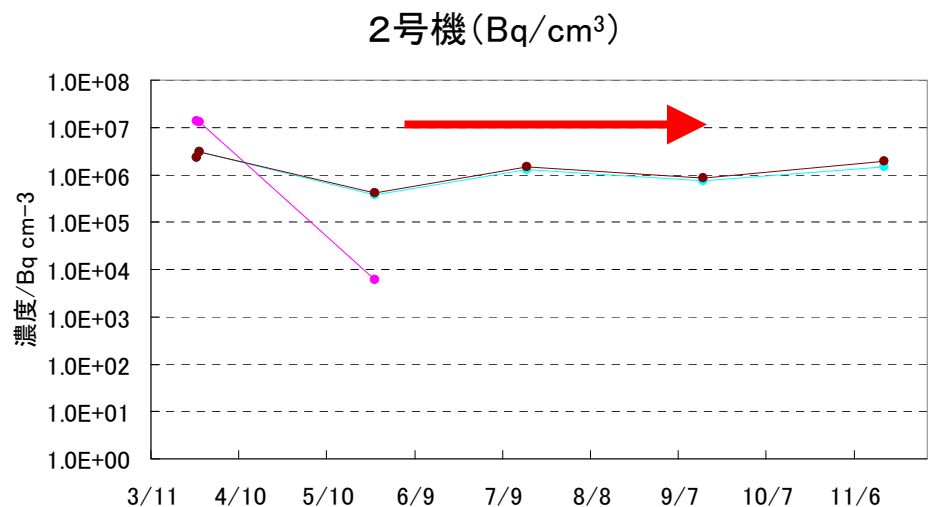
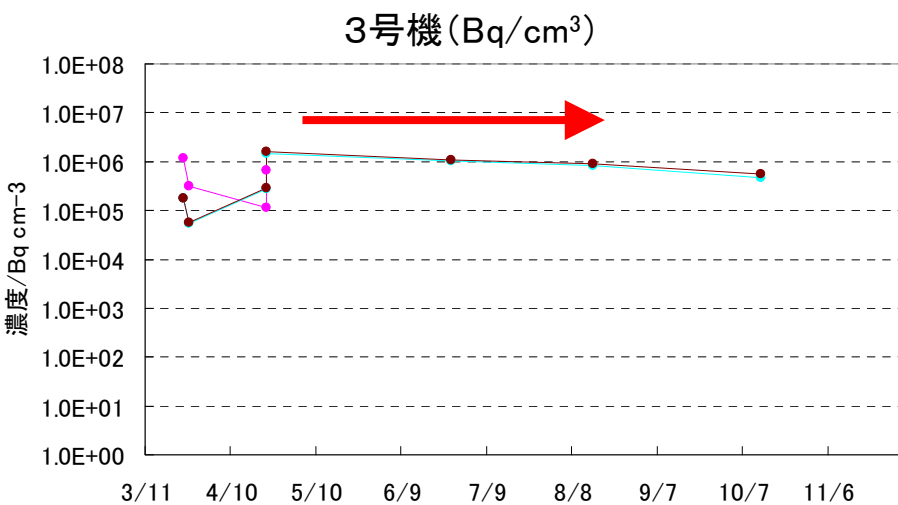
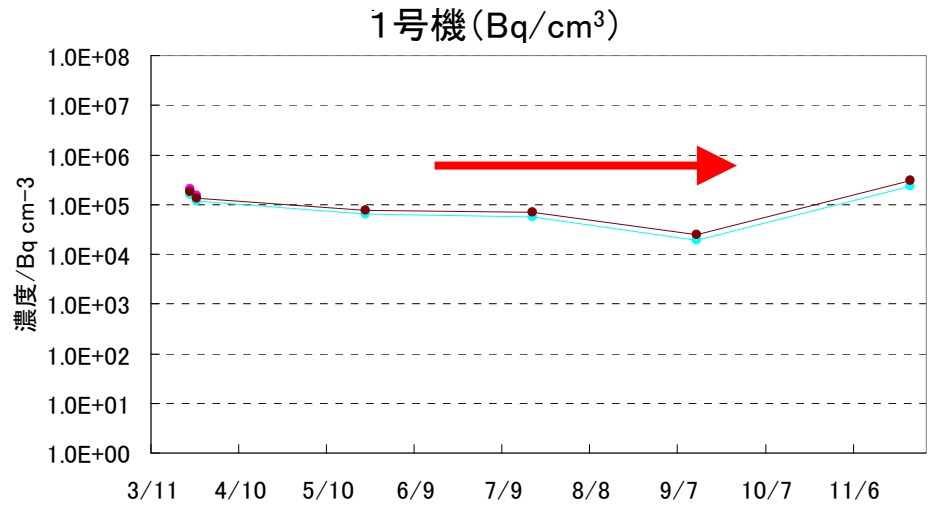


各号機中央制御室線量率(代表ポイント)



1号機～4号機 タービン滞留水放射能濃度

事故発生以降、Cs-134,137 は、1～3号機でほぼ横ばいの推移。4号機は3号機からの流れ込みと思われる上昇があった。I-131は減衰により低下傾向。



※グラフスケール 縦軸:1E+0～1E+8 横軸:3/11～11/30 ※凡例 ■ I-131 ◆ Cs-134 ● Cs-137

【参考】1号機～4号機 タービン滞留水放射能濃度 (データ一覧)

採取場所	福島第一 1号機 タービン地下溜まり水							福島第一 2号機 タービン地下溜まり水						
	試料採取日時	H23. 03. 24 9時40分	H23. 03. 26 12時00分	H23. 05. 23 13時50分	H23. 07. 19 10時10分	H23. 09. 13 10時48分	H23. 11. 25 10時00分	H23. 03. 26 8時50分	H23. 03. 27 20時40分	H23. 05. 26 10時00分	H23. 07. 17 9時15分	H23. 09. 15 12時05分	H23. 11. 16 10時00分	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)							試料濃度 (Bq/cm ³)						
I-131 (約8日)	2. 1E+05	1. 5E+05	ND	ND	ND	ND	ND	1. 3E+07	1. 3E+07	6. 2E+03	ND	ND	ND	
Cs-134 (約2年)	1. 6E+05	1. 2E+05	6. 4E+04	5. 7E+04	1. 9E+04	2. 3E+04 ※	ND	2. 3E+06	3. 1E+06	3. 8E+05	1. 3E+06	7. 4E+05	1. 5E+06	
Cs-137 (約30年)	1. 8E+05	1. 3E+05	7. 6E+04	7. 0E+04	2. 5E+04	3. 0E+04 ※	ND	2. 3E+06	3. 0E+06	4. 2E+05	1. 5E+06	8. 7E+05	1. 9E+06	
Y-91 (約59日)	5. 2E+04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
Mo-99 (約66時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
Tc-99m (約6時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3. 0E+04	ND	ND	ND	ND	ND	
Te-129m (約34日)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
Te-132 (約78時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
I-132 (約2時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
Cs-136 (約13日)	1. 7E+04	1. 1E+04	3. 1E+02	ND	ND	ND	ND	2. 5E+05	3. 2E+05	1. 1E+03	ND	ND	ND	
Ba-140 (約13日)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4. 9E+05	6. 8E+05	ND	ND	ND	ND	
La-140 (約40時間)	3. 0E+02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 9E+05	3. 4E+05	ND	ND	ND	ND	
H-3 (約12年)	7. 0E+02	—	—	—	—	—	—	—	2. 4E+04	—	—	—	—	

採取場所	福島第一 3号機 タービン地下溜まり水								福島第一 4号機 タービン地下溜まり水					
	試料採取日時	H23. 03. 24 21時00分	H23. 03. 26 8時30分	H23. 04. 22 8時50分	H23. 04. 22 9時00分	H23. 06. 26 14時40分	H23. 08. 15 9時45分	H23. 10. 13 14時30分	H23. 03. 24 21時00分	H23. 04. 21 14時05分	H23. 05. 26 9時30分	H23. 06. 29 9時00分	H23. 08. 16 15時00分	H23. 10. 17 10時50分
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)								試料濃度 (Bq/cm ³)					
I-131 (約8日)	1. 2E+06	3. 2E+05	1. 2E+05	6. 6E+05	ND	ND	ND	ND	3. 6E+02	4. 3E+03	9. 9E+02	ND	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1. 8E+05	5. 5E+04	2. 7E+05	1. 5E+06	1. 0E+06	8. 3E+05	4. 7E+05	3. 1E+01	7. 8E+03	4. 9E+04	9. 2E+04	6. 0E+04	1. 4E+04	
Cs-137 (約30年)	1. 8E+05	5. 6E+04	2. 8E+05	1. 6E+06	1. 1E+06	9. 2E+05	5. 6E+05	3. 2E+01	8. 1E+03	5. 1E+04	9. 9E+04	6. 7E+04	1. 7E+04	
Y-91 (約59日)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
Mo-99 (約66時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 0E+00	ND	ND	ND	ND	
Tc-99m (約6時間)	2. 0E+03	6. 8E+02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6. 5E-01	ND	ND	ND	ND	
Te-129m (約34日)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 3E+01	ND	ND	ND	ND	
Te-132 (約78時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 4E+01	ND	ND	ND	ND	
I-132 (約2時間)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 3E+01	ND	ND	ND	ND	
Cs-136 (約13日)	2. 3E+04	6. 5E+03	7. 7E+03	4. 4E+04	ND	ND	ND	ND	3. 7E+00	2. 4E+02	2. 1E+02	ND	ND	
Ba-140 (約13日)	5. 2E+04	1. 9E+04	1. 8E+04	9. 6E+04	8. 4E+03	ND	ND	ND	6. 0E+02	ND	ND	ND	ND	
La-140 (約40時間)	9. 1E+03	3. 1E+03	1. 7E+04	9. 3E+04	4. 9E+03	ND	ND	ND	4. 1E-01	4. 8E+02	4. 3E+02	ND	ND	
H-3 (約12年)	3. 0E+03	—	—	—	—	—	—	—	6. 5E+00	—	—	—	—	

※記載を訂正しております (平成26年1月23日訂正)